

電気料金再値上げ

道民のみなさん

許せますか!



賀来三四郎 © カクサン部!

家庭向けは昨年値上げ幅の2倍

道民も産業界も、「もっと経営努力を」といっているのに、北電は、「役員報酬を減らしても電気料金は安くない」「原発を再稼働させ料金を下げることだ」と聞く耳を持ちません。原発の危険と動かない原発の維持費（年間800億円）を道民にツケ回すのを許せるでしょうか。

“値上げが嫌なら再稼働”は通用しません。

福井地裁判決（5月）は、国民の安全よりもコストを優先する考え方をきっぱり拒否。人間の生存に関わる権利と、電気代の高い低いの問題は、天秤（てんびん）にかけられないと断じました。

もうけ第1のツケまわしはゴメンです!

北電の原発依存度は全国No.1（44%）。莫大な建設費と維持費を電気料金として回収できる一方で、もうけを最優先し、再生可能エネルギー等の導入を怠ってきたツケ回しは許せません。

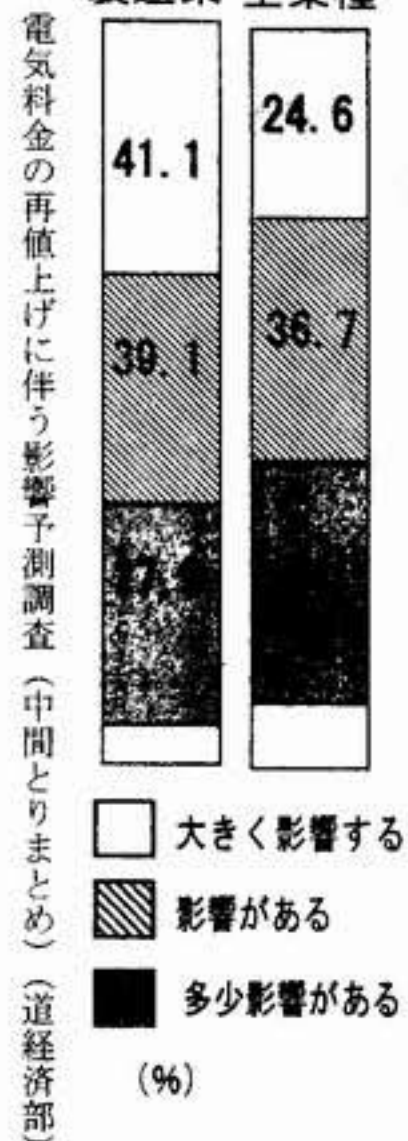


全力で値上げ回避を

- ▽役員報酬、コスト高の石油や海外炭、割高な燃料費購入価格などの総見直しにより、経営効率化をはかる
- ▽太陽光発電など電力事業者からの電力受け入れと送電線の整備などで、再生可能エネルギー導入を促進する
- ▽電気料金として支払ってきた「使用済燃料再処理等引当金」（2013年度末残高・2兆5000億円）や原発推進で利益をあげたプラントメーカー、関係金融機関などの利益剰余金を「基金」化し値上げ回避の財源に。



製造業 全業種



9割以上の企業が「影響がある」
— 経常利益減少の企業が6割



2014年8.9月号外
〒065-0012
札幌市北区北12条東2丁目
TEL011(721)2138
昭和40年8月10日第3種郵便物認可

※ 日本共産党北海道委員会の見解を紹介いたします。裏面もご覧ください。ご意見・ご要望はTEL011(750)1500へ。



日本共産党北海道委員会と道議団は、北電に値上げ申請の「撤回」、経済産業省に「認可すべきではない」と真下紀子道議を先頭に要請（写真8月28日東京）。